

そもそも有機JASとは？

有機JAS認定マークは、農林水産大臣が定めた品質基準や表示基準に合格した農林物資の製品につけられる認定マークです。JAS法で認定された「有機農産物」の生産工程管理を行います。

欧州連合（European Union、以下「EU」という。）は、2020年7月16日より、日本を有機JAS制度をEUの有機制度と同等と認め、EUで販売する有機食品を生産できる国のリストに日本を追加しました。それに伴い、有機野菜を表記するには必ず有機JAS認定が必要となりました。

審査の基準として、下記の条件が挙げられ、認定後も有機JAS規格に基づいた生産を行っていることを確認するため、最低1年に1回、認定農家等の調査を行うこととなっています。

JAS認定マーク



【認定条件】

- ・種まき又は植え付けする2年以上前からほ場（畑）の土に禁止された農薬や化学肥料を使用していないこと
- ・栽培中も禁止された農薬や化学肥料を使用していないこと
- ・使用する肥料や農薬は天然物質又は化学的処理を行っていない天然物質に由来するもののみ
- ・ほ場や施設、用具などに農薬や化学肥料の飛散・混入がないこと
- ・遺伝子組換えの種を使わないこと
- ・病害虫を防除するのに農薬に頼らないこと

取材ポイント 別途ご要望をいただければ、調整をさせていただきます。

受講生インタビュー可能

注目されているSDGsの取り組み、コロナ下の受講生の今の考え、具体的に何を行っているのか。

20代～60代の幅広い受講生の方々が何を思い、将来の就農に向け取り組みをしているのか、生の声を取材していただくことが可能です。

事前に具体的なご要望をいただきましたら、調整をさせていただきます。



農の学校 運営担当者 取材可能

農の学校では、移住及び新規就農を希望して入学した受講生が、実際に有機JAS認定カリキュラムの中で野菜の生産～販売までを実践的に学び、行っています。

これは、丹波市様の長年にわたる有機野菜に対する取り組みと、株式会社マイファームの様々な事業活動から導き出された実践に裏打ちされた技術が融合して実現することができています。そういった観点でのお話が可能です。



代表インタビュー可能

代表取締役 西辻 一真（にしつじ かずま）

1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学を卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。

その後、体験農園、農業学校、流通販売、農家レストラン、農産物生産など、独自の観点から農業の多面性を活かした種々の事業を立ち上げる。2010年、戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任。

2016年、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。2018年より東京農業大学客員教授就任。将来の夢は世界中の人が農業（土に触れていること）をしている社会を創ること。



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社マイファーム 丹波市立農の学校 運営事務局
TEL : 0795-85-2800 / E-mail: info@agri-innovation.jp